

DATA 2022年のライブ・エンタテインメント市場（オンラインライブは含まない）

LIVE ENTERTAINMENT MUSIC + STAGE

市場規模はコロナ禍前の約9割まで回復
過去最高だった水準まであと一歩に迫る

2022年の国内ライブ・エンタテインメント市場規模（本書では、ライブ・エンタテインメント市場規模＝音楽コンサートとステージでのパフォーマンスイベントの推計チケット販売額合計と定義）は、対前年増減率84.0%増の5,652億円となった。対2019年増減率では10.2%減でコロナ禍前の約9割まで回復し、2019年の過去最高水準まであと一歩に迫った。

調査概要

■対象範囲

日本国内で開催される各種ライブ・エンタテインメントのうち、一般に開催情報の告知を行い、かつ一般にチケット販売を行う、有料の音楽・ステージ2ジャンルのイベント。

■集計ジャンル

- 音楽：ポップス、クラシック、演歌・歌謡曲、ジャズ、民族音楽ほか
- ステージ：ミュージカル、演劇、歌舞伎・能・狂言、お笑い／寄席・演芸、パレエ／ダンス、パフォーマンスほか

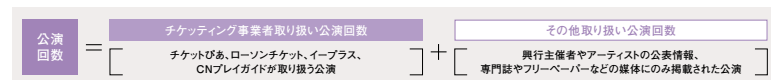
■集計期 各年1～12月（開催日ベース）

■集計項目

ライブ・エンタテインメント市場を定量的に把握する指標として、「公演回数」「動員数」「市場規模」を基本3指標として推計する。

①公演回数

チケットング事業者が取り扱っている公演をベースに、開催情報を網羅的に収集し、重複を除いて追加する。



②動員数：チケットの推計流通数

公演ごとの設定席数に、販売実績を把握できる公演から算定した席数ごとの実売率を乗じる。

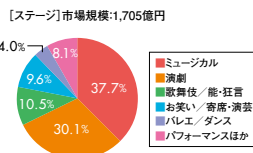
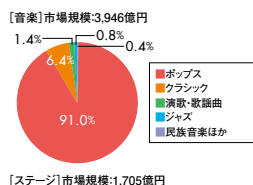


③市場規模：チケットの推計販売額＝チケット単価×チケット推計流通数

公演ごとの席種別推計動員数に各席種単価を乗じる。



【ジャンル別市場規模構成比(2022年)】

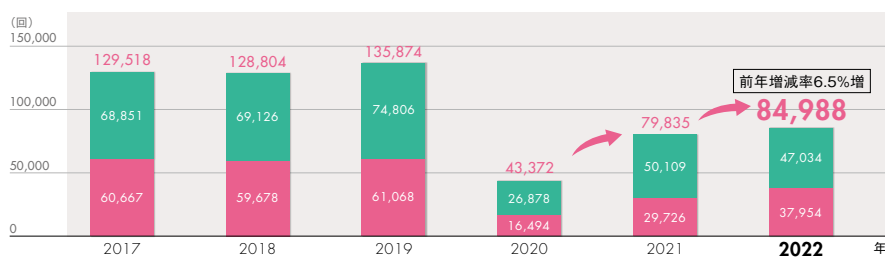


2021年まではステージ市場が音楽コンサート市場にやや先行して回復していたが、2022年に入り、オミクロン株の拡大で原則停止していた外国人の新規入国制限も緩和され、大規模会場でも「声出しなし」等の条件でコロナ禍以降初となる収容率100%での開催が可能になるなど、音楽コンサート市場も急速に回復に向かった。

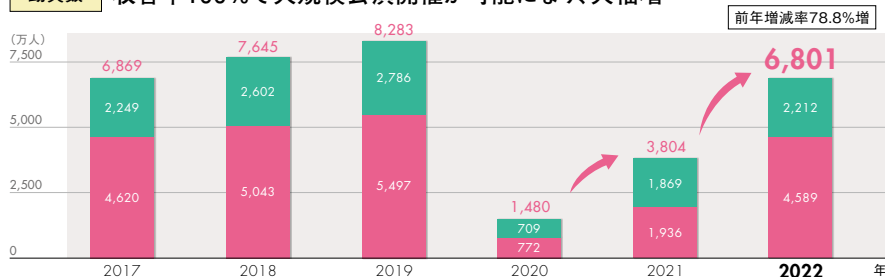


■ 音楽 ■ ステージ

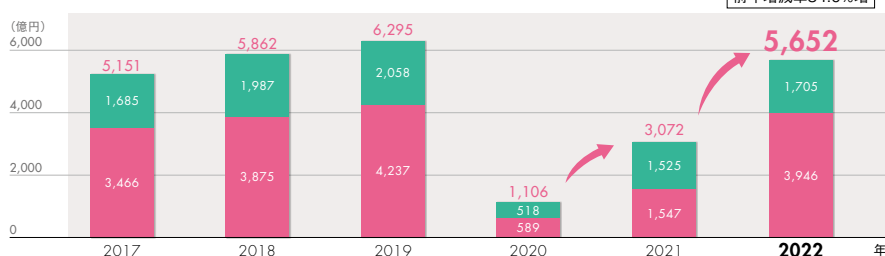
公演回数 公演回数はコロナ禍前の約6割



動員数 収容率100%で大規模公演開催が可能になり、大幅増



市場規模 2019年の約9割まで回復



※四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある。(次項以降も同様)